連合福島スポット情報

連合福島

520号　2012年　11月　7日　発行　福島市宮町3-14　連合福島　組織広報局

民主党の細野豪志政策調査会長来福

民主党本部と連合福島との意見交換会を開催

連合福島は 10 月 27 日（土）福島市ホテルグリーンパレスにて民主党本部との意見交換会を開催した。

連合福島からは、影山会長、児玉副会長、真弓副会長、笠井副会長、石原副会長、須藤副会長、小野副会長、今泉事務局長などが、民主党本部からは、細野政策調査会長、秋元民主党本部事務局長などが出席し、東日本大震災の復旧、復興と次期国政選挙への連携などに対する意見、要望などについて意見交換を行った。

冒頭、影山会長は「国の復興計画と被災者の間には距離感が出ている。計画の見直しも含め、実情に合った対応をお願いしたい。また、国政選挙については、我々は、民主党を主軸として次の選挙戦についても臨んで行く。本県の１区、２区の候補者擁立については、党として戦術・戦略を持って民主党県連と一体となった公認候補者擁立をお願いしたい。」と述べ、民主党に対し柔軟な復興施策と次期国政選挙の候補者擁立について要望した。懇談で連合福島の出席者からは、復興政策課題について、除染の早期推進と中間貯蔵施設の設置、そして雇用の安定確保や医師不足への対応、各地域自治体職員の増員などを求めた。また、国政選挙課題については、次期衆議院選挙で公認候補者が空白となっている福島１区、２区の早急な候補者擁立などについて、多くの意見・要望が出された。それを受け、細野政策調査会長からは、「福島県の復旧・復興の加速化、雇用確保や医師不足への対応は党を挙げて最優先課題として取り組んでいく。次期衆院選の空白区状態である公認候補者については、党としてしっかりと戦う態勢をつくならければならない。」と党県連との調整を加速させる意向を示した。

意見交換会の席上、挨拶をする細野政調会長

主催者挨拶をする影山会長

意見交換会参加者